

知って得する ビジネスマナー



人財育成トレーナー
美月 あきこ

人財育成トレーナー・ビジネスマナー講師。大学卒業後、日系および外資系航空会社にて国際線客室乗務員として17年間勤務。現在は、人財育成トレーナーとして接客サービス、対人コミュニケーションについての講演・研修を企業や団体に行う。客室乗務員時代に身につけたファーストクラス仕様のサービスを元にした、ユニークな研修が好評を博す。年間180回以上の研修と講演をこなす。著書に、「ファーストクラスに乗る人のシンプルな習慣」「15秒で口説く エレベーターピッチの達人」などがある。

「経営者のコートマナー」

寒い冬の外出時に欠かせないのがコートです。ビジネスシーンでは、スーツに合わせてコートを選擇れることも多いのではないのでしょうか。そこで今回は、「経営者のコートマナー」をご紹介します。

まず、コートを脱ぐタイミングについてですが、訪問先ではオフィスに入る前にコートを脱いでいることと思います。しかし、自社オフィスではどうでしょう。コートを着用したまま入ることが多いように思います。コートは外で着るもので、自社オフィスであれば自宅であれ、本来は建物の中に入る前に脱ぐのが周囲への配慮でありマナーです。

がスマートです。自社の場合は、ハンガーに掛けてロッカーやコート掛けにしまえます。襟やポケットのフラップ（ふた）も整えましょう。そうすることで、シワ残りや襟・ポケットのフラップの浮きなどが避けられ、コートの傷みを防げます。また、コートをハンガーに掛けたいなら、ポケットにごみが残っていないか、ホコリや糸くずが付いていないかなどもチェックします。最後に、一番上のボタンを含めて2カ所ほどボタンを留め、コートの型崩れを防ぎます。

訪問先では、コートは畳んで自分が座る場所の近くに置きます。自分が座る椅子に浅く腰掛けてその後ろに置いたり、床に置いたかばんの上に置くなどします。くれぐれも椅子の背もたれに置かれませんよう。また、訪問先にコート掛けがあったとしても、何も言わずに勝手に使うのはマナー違反です。先方から「どうぞ」と声を掛けられてから、お礼を述べて使います。

自宅に戻ったら、脱いだコートはすぐにクローゼットにしまわず、一日陰干しをしてからしまえます。コートは、臭いがこもりやすいためです。毎日着ていくコートでしたらクローゼットにはしまわずに、玄関や部屋につるしておきましょう。

コートの選び方についてですが、その職位にふさわしい落ち着いた色やデザインのものを選びたいところです。ダッフルコートは若々しくてかわいらしく、親しみも感じられますが、カジュアル過ぎるため経営者が着るコートとしてはNGです。お薦めは、背の高い方ならロング丈のシックな色のトレンチコート、背が低めな方ならショート丈のコートです。見栄えも良く、おしゃれでスーツに合います。経営者の品格を演出できるでしょう。購入の際に背丈などのバランスを第三者に見てもらおうべきです。

寒さをしのぐためのコートではありませんが、その扱い方や着こなすから、経営者の品格が問われる重要なアイテムです。寒い冬、ぜひ、「経営者のコートマナー」を意識してみてください。